

# 羽田地区振興会

## 4月23日(火)に総会を開催

### 誘い合わせの上参加をお願いします

令和6年度羽田地区振興会総会は、4月23日(火)午後6時30分より開催します。

理事 31名、代議員 36名、役員からなる70名を超える70名を超える参加者が予定されています。2階の和室ではなく、地区センター体育館での開催となります。

昨年度

# 振興会だより

令和6年3月27日発行  
 発行：羽田地区振興会  
 編集：羽田地区センター

は、代議員の参加が定足数を満たすことができず流会となり、後日書面にて議決いただきました。

このようなことから、今年度は

は各行政区の理事さん、代議員さんへの参加呼びかけをお願いしております。無駄足を運ぶことのないよう、お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。

## 今野地区センター長

今野俊宏羽田地区センター長は、任期満了で、3月31日をもって退任いたします。

ここに、御礼のご挨拶を掲載させていただきます。

## 「お役に立てたのなら幸い」

思い起こせば、平成28年教員退職を前に、当時の振興会長である佐藤建樹氏より地区センター長就任の打診を受け建樹氏の熱い思いに心を打

## 羽田幼稚園 68年の歴史に幕

令和6年3月22日(金)、奥州市立羽田幼稚園閉園式が、関係者48名の出席のもと執り行われました。羽田幼稚園は、67年の歴史に幕を閉じ令和6年3月31日をもって閉園となります。

昭和31年の開園以来、二、六三五名の卒園生を送り出してきました。「少子化」「こども園ニーズの増大」「施設の老朽化」が閉園の理由としてあげられます。

たれ、僭越ながらお引き受けいたしました。それから8年。あつという間の8年間であり、とても充実した日々を過ごさせていただきました。

思い出となつていることは、指定管理制度導入元年からセンター長を仰せつかったことです。新人職員と共にセンターの運営を軌道に乗せるため取り組みさせていただきました。

また、10年間を見据えた羽田のまちづくりの土台となる第2次コミュニティ計画原案作りを担わせていただいたことです。この計画に基づき一歩でも目標に近づくため取り組み続けていただきました。「国道397号北上川新橋架橋期成同盟会」の思い



式の最後に全員で園歌を斉唱しました

を受け継いだ新小谷木橋落成も思い出の一つです。

私は、互助の心が豊かな地域が良いまちだと考えています。そんなまちに生まれ、皆さんからたくさんお世話になってきました。まちづくりのため何かしら役立つことができたのであつたらこの上ない喜びです。

いずれ、8年間もの長きにわたり、地区の皆様には近しく温かく接していただき、職務を遂行するうえで大きな励みと支えになりました。多くの方々に出会えたことは私の一生の財産です。

大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



伊藤流行山鹿踊りを披露する園児たち

# 地域と歩み 育てた宝物

## 支えた幼児教育、歴史に終止符

# 羽田幼稚園が閉園

水 沢

市立羽田幼稚園(菊池俊二園長、園児7人)の閉園式は22日、水沢羽田町の同園で行われた。子どもたちの健やかな成長を後押しし、70年近く地域の幼児教育を支えてきた同園。関係者らは、思い出を振り返りながら園舎に別れを告げた。

(岸川駿也)

1956(昭和31)年、羽田町婦人会が主体となり羽田公民館の4室を保育室にしてスタートを切った同園。79年、現在地に園舎を新築した。▽たのしくあそぶ▽なかよくあそぶ▽くふうしてあそぶを教育目標とし、地元で伝わる伊藤流行山鹿踊りを教育活動として取り入れるなど地域と共に歩んできた。

中、策定された市立教育・保育施設再編計画に基づき本年度末での閉園が決まった。式では高橋勝教育長が教育委員会告示で「家庭や地域住民らと共に伝統を育みながら、これまで質の高い教育を積み重ねてきた。これらは関係者らの協力のためであり、深く感謝する。」と、深く感謝する。

倉成淳市長は式辞で「保育活動の中に郷土芸能を取り入れるなど、教育目標の実現に向けて多くのアイデアを实践してきた。未来を担う園児らの心には、園で学んだことが刻まれていると確信している」と述べた。菊池園長は「地域の皆さんに支えられながら、協働による積極的

な活動を実践してきた。お世話になった人たちの真心に触れて伸びびと育った園児たちには、受け取った大事な宝物をこれからも大切にしていきたい」と願った。アトラクションでは園児が同鹿踊りを元気いっぱい披露し、感謝の気持ちを伝えた。

しかし、少子化が急速に進行。幼児教育へのニーズも変化してい

た。